

策定方針：第1章 はじめに

1. 計画の背景と目的

本市では、平成11年3月に行田市景観形成計画を策定し、行田らしい景観形成に取り組んできたところである。

この間、社会環境が大きく変化し、市民ニーズは、量的重視から質的重視へと価値観の変化や多様化が進み、一層の生活環境の質の向上が求められており、景観まちづくりにおいても「行田らしさ」がこれまで以上に求められている。

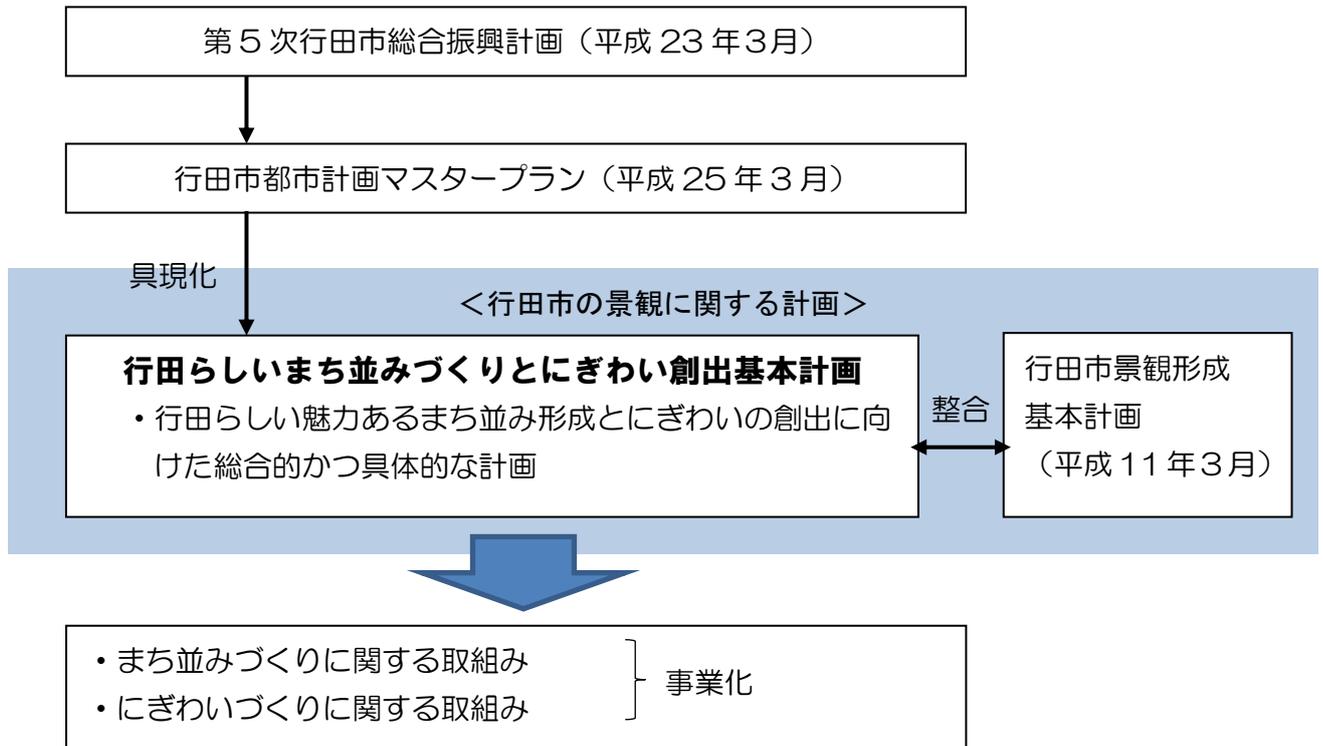
このような社会環境や市民ニーズの変化を受け、平成25年3月策定の新たな都市計画マスタープランでは、「水と緑と歴史がおりなす 笑顔あふれるまち ぎょうだ」を将来都市像とし、重点施策たるリーディングプロジェクトを位置づけ、各施策をスタートしたところである。

行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画は、行田市景観形成基本計画との整合を図りながら、行田市都市計画マスタープランをまち並みや景観的な観点から具体化するとともに、行田らしい魅力あるまち並み形成とにぎわいの創出に向けた総合的かつ具体的な計画として策定することを目的とする。

2. 計画の位置づけ

上位計画及び関連計画との位置づけを下図に示す。

■計画の位置づけ

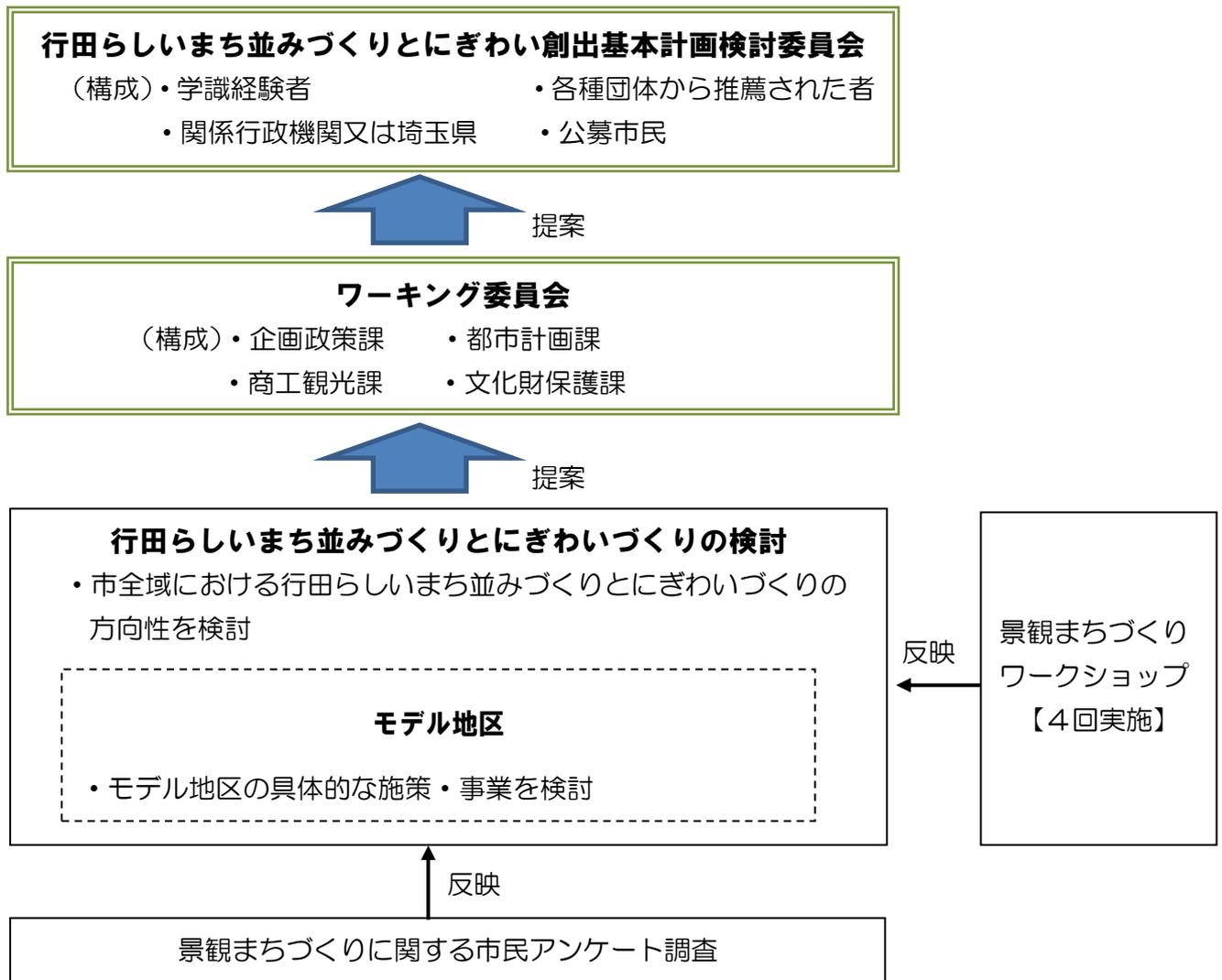


3. 計画の策定体制・検討内容

計画策定にあたっては、学識経験者等で構成する「行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画検討委員会（以下、検討委員会）」により検討を行う。庁内においてワーキング委員会を設置し、検討した内容を検討委員会に提案する。

市全域の検討にあたっては、市民アンケート調査を実施するとともに、モデル地区においては、景観まちづくりワークショップを実施し、具体的な施策・事業を検討する。

■策定体制図



■ 検討委員会・ワーキング委員会の開催日程及び検討内容

回	開催日程 (上段：ワーキング委員会、 下段：検討委員会)	検討内容
第1回	平成25年10月21日(月) 平成25年11月8日(金)	<p>〈計画の策定方針と策定スケジュールの検討〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の策定方針と策定スケジュールの検討 ・市全体のまち並みとにぎわいづくりの特性と課題の検討 <p>〈計画書内の関連章：第1章～第3章〉</p>
第2回	平成25年12月4日(水) 平成25年12月13日(金)	<p>〈基本方針とモデル地区の方針と具体施策の検討〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市全体及び各地域におけるまち並みとにぎわいづくりの方針の検討 ・モデル地区の方針とまち並み形成及びにぎわいづくりに関する具体施策の検討 <p>〈計画書内の関連章：第4章～第6章〉</p>
第3回	平成26年1月第1週 平成26年1月10日(金)	<p>〈計画全体の内容の検討〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業推進に向けたプログラムと事業の進行管理及び推進体制の検討 ・計画全体の内容の検討 <p>〈計画書内の関連章：第7章～第8章〉</p>
第4回	平成26年2月第3週 平成26年2月25日(火)	<p>〈パブリックコメントの結果を踏まえた検討〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントを踏まえ、計画書全体の内容について検討

4. 計画の構成（案）

第1章 はじめに

1. 計画の背景と目的
2. 計画の位置づけ
3. 計画の策定体制
4. 計画の構成

第2章 前提条件の整理

1. 上位・関連計画の整理
 - (1) 第5次行田市総合振興計画（平成23年3月）
 - (2) 行田市都市計画マスタープラン（平成25年3月策定）
 - (3) 行田市景観計画・行田市景観形成基本計画書（平成11年3月）
 - (4) 行田地域の足袋蔵等の保全・活用のための調査と提案報告書（平成24年3月）
2. 歴史的条件
3. 社会的条件

第3章 まち並みとにぎわいづくりの特性と課題

1. 地域資源の特性
2. これまでの取組みの整理
 - (1) 行田市におけるこれまでの取組み・事業
 - (2) 市民主体のまちづくり活動
3. 市民意向に関する特性
4. まち並みとにぎわいづくりの課題
 - (1) 地域資源の活用に関する課題
 - (2) まち並みづくりに関する課題
 - (3) にぎわいづくりに関する課題

第4章 まち並みとにぎわいづくりの方針

1. 行田らしさを活かしたまちづくりとは
2. 行田らしさを活かしたまちづくりの方針
 - (1) 行田らしいまち並みづくりの方針
 - (2) 行田らしいにぎわいづくりの方針
3. 地域資源を核としたまちづくりの方針
 - (1) 秩父鉄道行田市駅周辺を核としたまちづくり方針
 - (2) 忍城址や水城公園などを核としたまちづくり方針
 - (3) JR行田駅周辺を核としたまちづくりの方針
 - (4) 埼玉古墳群や古代蓮の里などを核としたまちづくり方針

(5) 利根川や田園などを核としたまちづくり方針

4. 地域資源のつながりに関する方針

(1) 地域資源の連携方針

(2) まちづくり活動の連携方針

第5章 モデル地区の方針

1. モデル地区の選定

2. モデル地区の方針

3. モデル地区におけるワークショップ結果

第6章 モデル地区の具体施策

1. まち並み形成に関する具体施策

2. にぎわいづくりに関する具体施策

3. 施策展開イメージ

※ワークショップ結果をもとに、具体施策を検討。ふるさとづくり事業の活用方策、国の各種事業の活用方策を踏まえた施策展開を検討。

第7章 事業推進に向けたプログラム

1. 事業スキーム

2. スケジュールと役割分担

第8章 事業の進行管理と推進体制

1. PDCA による進行管理

2. 協働による推進体制